



H290721

第4回準備会資料

大阪フィランソロピー促進会議の検討

～アジアの民都(公益首都)をめざして～

優先的に検討すべき課題・テーマについて

大阪では福祉や医療、教育等、様々な分野でそれぞれの主体が社会的課題の解決や公益の増進に取り組んでいる。

よこ軸

こうした課題解決の動きをトータルで支え促進するため、「資金循環」や「人材確保・育成」、「情報」等、大阪で活躍する多様な主体に共通する課題について、優先的に検討すべきものとし、従来とは異なる新たな取り組みや仕組みの創出について検討する。

3テーマすべてを優先的に検討すべき課題とするか
また、各テーマからどのような事項を抽出（例：「資金循環」における「休眠預金」等）して検討するか

たて軸

住民一人ひとりが様々な社会的課題に向き合い、自ら行動し、自発的・持続的に課題解決を図る民都・大阪に向けて、具体的な社会的課題を優先的に検討すべきものとしてとりあげ、新たな連携や協働の仕組みや制度改善等について検討する。

従来の取り組みとの違いをどのように打ち出すかが課題

【抽出の視点（例）】

- ・現在の市民（非営利）・企業（営利）・行政の取り組み状況等や、5年後・10年後を見据えた更なる工夫や改善による取り組みの拡大の可能性
- ・複数の分野にまたがる社会的課題の組み合わせによる、これまでになかった議論・検討の可能性

これらにより設定した優先的に検討すべき課題について、（分科会の設置等）どのように検討を進めるか整理したうえで、検討に着手する。

(仮称)大阪フィランソロピー会議は、非営利セクター等の関係者が集う「**全体会議**」と、全体会議でとりあげるテーマの整理や具体的な取組みについての検討を行う「**コア会議(仮称)**」で構成する。必要に応じて分科会なども検討。
会議は多様な非営利セクター、大学、企業、行政などが対等の立場で議論する場とする(参加者は無償で参画)。

(仮称)大阪フィランソロピー会議イメージ

全体会議

本会議の趣旨に賛同した団体等で構成するインクルーシブな集まり
コア会議の成果を広く発信
講演形式やシンポジウム形式など様々な手法を想定

コア会議

非営利の各法人類型などでリーディング的な団体の責任者、学識、行政等で構成

フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化にむけた問題提起や課題の検討、取組み内容などについて議論を行う

個別課題については、必要に応じて分科会を置くことも検討

分科会はコア会議メンバーが、その他の有識者等の参画を求めながら、議論をリード

<コア会議メンバー イメージ>

有識者	公益法人	社会的企業
大学関係	学校法人	企業CSR、CSV
中間支援組織	医療法人	協同組合
行政	NPO法人	任意団体
経済界	社会福祉法人	その他

<分科会 イメージ>



事務局

大阪フィランソロピー促進会議イメージの第3回準備会資料からの変更箇所について

当初イメージ		変更案	変更理由・会議等の役割等
(仮称) 大阪フィランソロピー会議	全体会議	大阪フィランソロピー大会	<p>「全体会議」と「コア会議」の違いが不明確であり、対外的に分かりやすくするため、情報発信の場として、名称から「会議」をはずし「大会」に変更</p> <p>講演やパネルディスカッション、分科会における取組み等の発表・意見交換、フィランソロピー都市宣言等</p>
	コア会議	大阪フィランソロピー促進会議	<p>各セクターに参画を求める会議として明確化</p> <p>フィランソロピー促進に向けた課題抽出や取組みについての議論、分科会の成果の共有等を行う会議</p> <p>大阪フィランソロピー大会の開催、分科会の設置等について決定</p> <p>法人格や営利・非営利の枠を超えて、これまでになかった連携や協働の促進等を行う</p> <p>フィランソロピー促進に向けた情報発信を行う（ホームページにおける情報発信等）</p> <p>必要に応じて、分科会リーダーを交えて開催</p>
	分科会	分科会	<p>課題に応じて設置（分科会ごとにリーダーを置き、リーダーによる運営のもと検討を進める）</p>
	事務局	事務局	<p>大阪フィランソロピー大会、大阪フィランソロピー促進会議の運営、情報発信、各会議の庶務等を担う</p> <p>民間組織による運営開始までの間、当面は副首都推進局がその事務を担う</p>

大阪フィランソロピー促進会議のイメージ

大阪フィランソロピー大会

(大阪フィランソロピー促進会議における取組み等の発信の場)
講演、パネルディスカッション、分科会における検討成果のプレゼンテーション
フィランソロピー促進に係る先進事例の紹介
大阪フィランソロピー都市宣言

等

イベント

大阪フィランソロピー促進会議

フィランソロピー促進に向けた課題抽出や取組みについての議論、分科会の成果の共有等を行う会議
必要に応じ分科会の設置、リーダーの選任、成果の共有等を行う。



設置

設置

設置

リーダー

リーダー

分科会

リーダー

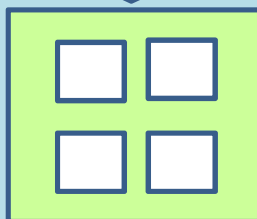
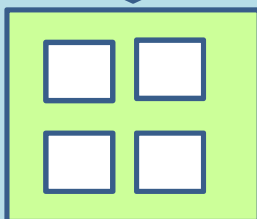
リーダー

運営

運営

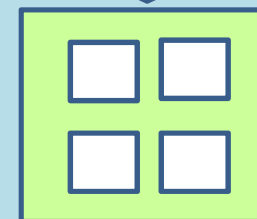
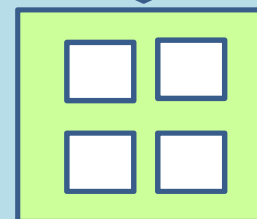
運営

運営



個別テーマの検討

リーダーの自主的な運営
による自由かつ活発な議
論が行われる検討会議



事務局 (分科会の運営については、リーダー中心に行う)

大阪フィランソロピー促進会議の実施する事業

大阪フィランソロピー大会

イベント（情報発信の場）

構成：大会の開催趣旨（大阪フィランソロピー促進会議の設立趣旨）に賛同した法人・個人誰もが参加可能

内容：

- ・大阪フィランソロピー促進会議、分科会における取組み等の発表・意見交換、情報発信の場
- ・メニュー：講演、パネルディスカッション、分科会における検討成果のプレゼンテーション、フィランソロピー促進に係る先進事例の紹介、大阪フィランソロピー都市宣言等

大阪フィランソロピー促進会議 旧コア会議

議論・決定の場

構成：促進会議メンバー（法人格を超えた参画）＋分科会リーダー

内容：

- ・フィランソロピー促進に向けた取組み全体に係る議論（分科会における検討により難しい課題の検討を含む）
- ・大阪フィランソロピー大会の開催、分科会の設置等の事項について決定
- ・法人格や営利・非営利の枠を超えた、連携や協働の促進等
- ・フィランソロピー促進に向けた情報発信（ホームページにおける情報発信等）
- ・各分科会における検討状況・成果の共有

分科会

個別テーマの検討

構成：リーダー＋分科会メンバー 分科会リーダーが人選後、大阪フィランソロピー促進会議において承認
<リーダーの自主的な運営による自由かつ活発な議論が行われる検討会議>

内容：

- ・各検討テーマに係る情報収集及び課題解決の検討

準備会の今後の進め方について

これまでの準備会の議論も踏まえ、今後、準備会で議論・決定していくべき事項を段階的に、ステップ1～ステップ6で整理

	検討事項（案）	メンバー参画関係
ステップ1	・会議設立趣旨・目的の整理（整理済み）	
ステップ2	【2 - 1】会議における検討テーマ 【2 - 2】会議構成（大阪フィランソロピー大会、大阪フィランソロピー促進会議、分科会）	
ステップ3	【3 - 1】会議における事業関係（事業計画、事務局機能、費用負担等） 【3 - 2】メンバー選任規程	～順次参画打診～
ステップ4	【4 - 1】民間組織による運営手法 【4 - 2】会議の議事運営規程	
ステップ5	【5 - 1】民間組織による運営の詳細検討 【5 - 2】設立趣意書・規約案	促進会議メンバー・分科会メンバー確定
ステップ6	・プレ促進会議の開催（設立趣意書・規約案の確認等）	

第4回準備会以降、順次、ステップ2から議論・検討を進める
ステップ4（民間組織による運営手法等）が整理された段階で、
大阪フィランソロピー大会の開催に向けた準備を開始（準備期間：3～4か月）

民主体による運営（ステップ3～4で検討予定）

事業計画（大会・促進会議の開催の頻度等）と、それに必要な事務局機能をどうするか

それに対応する費用負担や組織体制をどうするか

どのような運営組織とするか（【例】：既存団体の活用、新規法人の設立）

休眠預金への対応

大阪における指定活用団体・資金分配団体のあり方はどうあるべきか

国の休眠預金等活用審議会に対して、大阪から意見を伝える必要性はあるか

恒常的な会員制の必要性

大阪フィランソロピー大会を開催するたびに賛同する個人・法人を集めるのではなく、大会開催に関わらず常時会員を置く必要性はあるか